

「高知で働きたい若者」を応援！
就活サポートマガジン

NO. 23
2018. JUL.

TAKE FREE



明日、

ジョブカフェこうち

今号表紙：高知県立工業高等学校 機械科3年生(旋盤・語機械班)

将来をどう考えようか
しているの？

高校生はどんな活動を
しているの？

特集

高知の キャリア教育 最前線!

CONTENTS

自分に合った就職力を身につける！
仕事力パワーアップ！
事業スタート

カード遊びでジブン発見！
シゴト★ジブン
発見カードで親子研究

就活のミカタ
「オートメディア高知図書館」を
フル活用！

幡多サテ通信

高知のキャリア教育

最前線!

ジョブカフェエニウちも、高知の高校生を応援!



特集

「地域の核となり、支える人材を育てます」
— 高知県のキャリア教育が目指している、ひとつの方向性です。
ここでは、今注目されている2つの高校の取り組みの中から、高校生がどんな活動を通して、将来をどう考えようとしているのかを探ってみます。

キャリア教育とは
一人一人の社会的、職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育。(文部科学省)

佐川高等学校

【いのち輝け～さくら咲くプロジェクト】

第11回キャリア教育優良学校文部科学大臣賞受賞

- 目的**
- 地域定住意識を育み、地域社会に貢献する意欲を持つ人材の育成
 - 社会に出て必要な能力の育成
 - 自己理解を深める
 - 自分が体験したこと、学んだことを自分の言葉で語れるようにする

- 取り組み**
- 1年 地域のリソースを学ぶ (佐川町・日高村・仁淀川町・越知町の地域資源を学ぶ)
 - 2年 地域の仕事を体験する (3日間のインターンシップと事前・事後の取り組み)
 - 3年 地域の未来に提言する (地域の課題解決のための提言)



特長 「さくらノート」がキャリア形成をサポート!

記録することで、計画的に行動する力・自己管理の力・振り返りと目標達成に向けて考える力を伸ばします。



後輩へ!
自分が気づいたことをメモしておく、あとの活動に必ずつながります。



後輩へ!
知りたいと思うことは、どんどん人に聞く。知ることは楽しいよ～!



「地域の魅力と課題を知った。実際に地元の人たちと関わって働きたい」
3年 藤原 菜央 さん

- 取り組み**
- 1年 横倉山の自然のすばらしさを再確認したが、めだか池が草ぼうぼうで荒れ果てているといった課題も見えた。
 - 2年 佐川町役場でのインターンシップでは、いろんな課の仕事を見せてもらい、実際に小学生対象のイベントの手伝いもした。
 - 3年 「高齢者と若者の関わり」をテーマに5人のメンバーで取り組んでいる。夏休みに子どもたちと高齢者が一緒に行うラジオ体操、防災マップづくりを企画中。

- Question 自分の変化は?**
- リーダーとしてチームをまとめる力が付いた。小学生までは人前に出るのが苦手だったので、そんな人の気持ちがよくわかる。だから「単語でもいいよ」と声をかけて、意見が出しやすい雰囲気を作ってみたり。違った意見に対しては「面白い!」と思う。
- 将来は?**
- 町の人たちが優しい佐川町が好き。おいしい食べ物もあり、自然も文化も豊かなことを、さくらプロジェクトで知った。地域全般に関わる佐川町役場に勤めて、お年寄りが過ごしやすい町にしたい。中学・高校のボランティアでは、先生や地域の人たちなど周りの人たちに助けをもらうことが多かった。その恩返しをしたい。

「乗り越えたい結果の“楽しい”が大事。仕事を高知で見つけない」
3年 松村 侑亮 さん

- 取り組み**
- 1年 クイズをしながらの横倉山登山では「こんなスゴイところがあったんだ!」と驚いた。
 - 2年 越知町役場でのインターンシップでは、集落に出かけ一人暮らしの高齢者と話をする経験もした。役場という硬いイメージだったが、人と役場の関係がいいなあと感じた。
 - 3年 「佐川のPR動画」を6人のメンバーで制作している。アンケートを分析し、「佐川と言えば?」を表現しようと格闘中。
- Question 自分の変化は?**
- 中学時代の反抗期を過ぎてからは、「人生楽しもう」と気持ちが一変した。さくらプロジェクトを通して、学校の外の人と積極的に話ができるようになったのが、一番の変化。

- 将来は?**
- 人と人の距離が近い地元が好きで、高知にいたいと思っている。教師は楽しそう……と、佐川高校の先生たちを見ていて感じる。高知工科大学に進学して学びながら将来を考えたい。バスケット部では、「しんどい時こそ声を出す」を心掛けていて、チームプレーがうまくいって点を取れた時は最高! 挫折を乗り越えられたら、結果は楽しい。仕事もやりたいと思うことを、楽しくやりたい。

高知工業高等学校

【イノベーションKT】

「チームで取り組む楽しさを知った。電気で、高知の“光”を支えたい」
電気科3年 植田 凌丞 さん



- 取り組み**
- 1年 テーマ「自分のお気に入り」では音楽を取り上げ、好きな曲をランキングにして発表した。
 - 2年 7人チームで、倒れてもちらからないゴミ箱を考案。見事選ばれて、最終発表会のプレゼンでは、やり切った!
 - 3年 エレキギターのピックアップを制作中。形が想像できると楽しくなってくる。1月のゴールまで、まだまだ道は険しそう。

- Question 自分の変化は?**
- 2年のチームは各科から1人ずつ編成され、日頃、面識のない人ばかり。最初は不安だったけど、「僕はこう思う」と最初に発言して、「〇〇くんはどう?」と聞くようにした。アイデア出しでは、とにかく発言する回数を増やす努力をした。発表会では、自分たちの考えをしっかりとまとめてプレゼンする力が評価されたと思う。

- 将来は?**
- 自然に恵まれて、よさこいのある高知が大好き。地元電力会社への就職を目指している。「震災の後、光があると全然違った」という話に感動したし、生活の基盤を支える仕事はカッコイイ!!

後輩へ!
自分から動く! やらないで後悔するよりも、やって失敗して改善して次につなげよう。



「自分から前になると、責任感もついてくる。建築士になって、空間をデザインしたい」
建築科3年 関口 杏里 さん

- 取り組み**
- 1年 (茨城県から転校。建築をやりたいと思っていたので、迷わず高知工業高校に)
 - 2年 倒れても起き上がるゴミ箱を考案。メンバー7人の方向性を決めるのが一番難しかった。それぞれの科の強みを出して完成させた。
 - 3年 建築デザインコンペに挑む。与えられたテーマは「大きな家」。そこで、小さな家だけど、大きな空間を感じられるような設計に奮闘中。

- Question 自分の変化は?**
- 工業高校ならではの活動を通して、自ら発信する力がついた。周りが言っても言わなくても、自分の意見は言う。人の意見は聞く。中学までの周りに合わせる自分から大きく変化して、2年時には生徒会長になった。背中をそっと押してくれ、一人ひとりに向き合ってくれる先生のおかげかな。

- 将来は?**
- 小さい頃からモノを作ることが好き。空間デザイン・建築デザインをやりたいので、県外の大学に進学し、建築士になりたい。

- 目的**
- 「自ら学び、自ら考え、自ら行動する力」を掲げている。社会で躍進するための成長のキーワードは、人間の心の基盤である「自自力」。自自力とは、「自ら未来を切り開く力」。
- 取り組み**
- 1 TEAM研修 (学年団や各校務分掌の取り組みで、団体行動に必要な「相手の立場に寄り添う力」や「連帯責任力」の成長を目指し、「まとまる力」をUP!)
 - 2 探究型学習 (高知工科大学との連携で、調査・発表活動や集団討論、課題研究活動で「自自力」をUP!)
 - 3 リーダー養成塾 (企業や同窓生、PTAとの連携で、「社会を担う人材の育成」を目指す。社会で活躍する先輩を中心に地域一体型で「リーダー力」をUP!)



特長

106年という歴史ある高校で、卒業生の「協力します」という支援体制が強み。生徒たちの発表会には約1000人の観客が集まり、大舞台に立つ経験も財産になる。



今回の
アドバイザー

オーテピア高知図書館
ビジネス支援サービス担当
はった ゆうこ
司書 八田 裕子さん

新しい図書館

「オーテピア高知図書館」をフル活用!

就活の
ミカタ vol.12

お待たせしました。「オーテピア高知図書館」が2018年7月24日、オープン!

だれもが使いやすいユニバーサルデザインで、広さは中四国最大級です。

散策したくなるような気持ちいい空間で、「わたしの未来」につながる情報をゲットしませんか。

本がミカタ



業界研究や資格取得の専門書、エントリーシートや面接などのスキルアップに関する本はもろこのこと、働き方や生き方など、そもそも……を考える本もたくさんあります。3階は、本を「課題解決」のテーマに応じたスペースごとに並べているのが特徴。興味・関心から本棚をめぐっていくことができます。

情報がミカタ

就職活動で情報収集は大事な一歩。新聞・論文・官報・法情報・企業情報など、多様なデータベースのオンライン情報が充実! また、就職関係のパンフやチラシなども積極的に収集しています。情報収集からアクションへとつなげていくことができます。



人がミカタ



就活情報は「ビジネス支援デスク」まで! ビジネス支援サービス担当の司書が、調べもののお手伝いをします。「こんな本を探しているんですけど……」「こんな情報がほしいのですが……」と、気軽に声をかけてください。

研究個室(9室)
落ち着いて学習できる「マイオフィス」です。



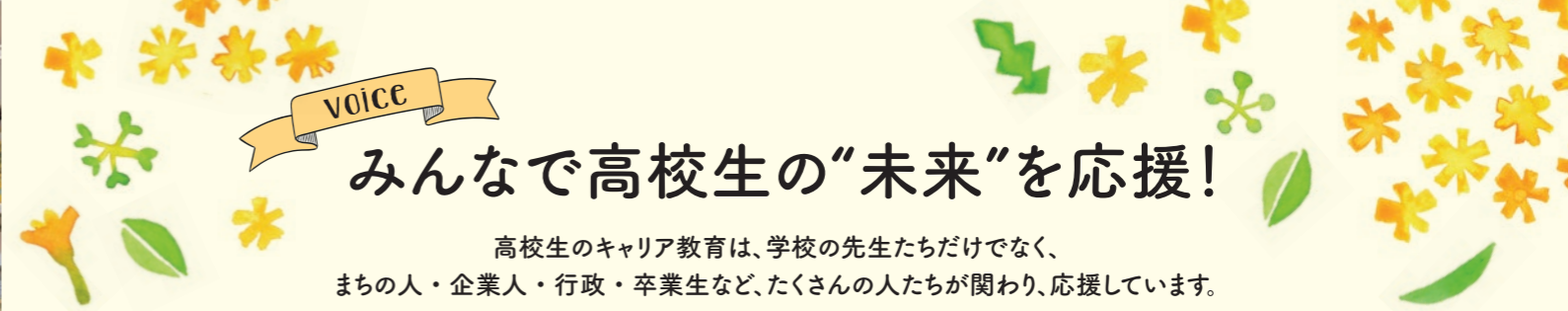
諸室のご利用には手続きが必要です。カウンターまでお尋ねください。

グループ室(5室)
グループディスカッションの練習などにも利用できます。



高校生のみなさん、
「本」から未来を考えよう!
2階の「ティーンズ」コーナーには、中高生にぜひ読んでもらいたいと思う本を並べました。「仕事」や「生き方」を考えることができる本も盛りだくさんですよ。

図書館で情報をゲットしたら、
ご近所の「ジョブカフェこうち」へ
お立ち寄りください。
あなたの就活アクションを支援します!



VOICE

みんなで高校生の“未来”を応援!

高校生のキャリア教育は、学校の先生たちだけでなく、まちの人・企業人・行政・卒業生など、たくさんの人たちが関わり、応援しています。

まちの事業主 「商品の後ろにある労働を知ってほしい」
キリン館/岡崎 笑顔さん

佐川高校のインターンシップを過去2年受け入れました。佐川高校の生徒さんは真面目で素直です。アルバイトの経験もあり、レジ打ちなども教えるとすぐにでき、開店前の掃除や、商品の整頓なども丁寧にやってくれます。

私の店では、フェアトレードの商品も扱っています。インターン生には雑貨屋の具体的な仕事の説明だけでなく、フェアトレードの意味や取り組み、生産現場のDVDも観てもらい、ちゃんと作られたものを公正な価格で売る意味を理解してもらえるようにしています。

商品の後ろにはたくさんの人の労働があります。その中には、発展途上の国で先進国の安い洋服を作るために過酷な労働を強いられている女性たちもいます。フェアトレードでは、そんな悲しい労働をなくすために、作る人にも着る人にもやさしい服を作っていることなどをお話しています。

インターン生は熱心にそのお話を聞いてくれます。そのことを自分のこととして受け止め、すばらしい発表してくれた生徒さんもいます。

佐川高校では、地域に足を運んで、学んで、発表をしています。故郷を見直す、地域の人と交流することは、とてもすばらしいこと。地域の未来を担う若者を大切にしたいと思います。

行政 「しっかりと発言する高校生。役場の職員にほしいなあ〜と思う」
越知町役場 企画課/岡田 浩和さん

企画課は、広報や観光など外に向けて発信していく明るい部分の仕事と、空き家対策のようにシビアな課題に直面する仕事があります。インターン生には両方の「現場」を見せたい、地域のことを考えるきっかけになってほしいという思いを持って受け入れています。

インターンの3日間は、広報紙の取材や高齢者のヒアリング調査など、広報課や住民課の仕事に密着してもらいます。最近、地域おこし協力隊の卒業生がゲストハウスを作りました。都会からやってきた若者がどんな思いを抱いているのか——地域で生まれ育った彼らに、その思いを引き出してもらうことで、何か気づきがあるのでは……と。

最初は受け身だったのが、考え、発言するようになります。自分の高校時代と比較しても、しっかりしていると感心します。こんな高校生が役場を受験してくれるといいな。

佐川高校が、もしなくなったら……それは地域にとって大きなショックです。さくらプロジェクトを長く続け、改善を重ね、特色あるプログラムにすることで、「佐川高校に行く」とこんなことができる」と中学生に思ってもらえる高校になることを願っています。

卒業生 「自立と自律のできる人が欲しい。専門性を活かして仕事につないでほしい」
株式会社 技研製作所 総務部人事課/西 和希さん

高知工業高校のキャリアガイダンスでは、採用担当者としてアドバイスをしています。私は建築科を卒業し高知工科大学に進学、入社後は圧入機を屋外で試験して仕上げていく部署でヘルメットをかぶって仕事をしました。その経験を今、学生さんと向き合う採用の仕事に活かしています。また当社の高知工卒の新入社員もガイダンスに出向き、仕事内容や高校でやっておくといったことなどの話をしています。

昨年、高知工卒の新入社員でこんなことがありました。1年かけて色々な部署を経験した上で、本人と会社の考えをマッチングさせて正式配属を決めるつもりが、彼は「機械の組み立てをやりたい。1年も待てない」と。結果、彼の強い意志を尊重して先に配属しました。

最近の若者のいいところは、素直。だけど、物足りない。「こう思います」「こうしたい」ともっと主張してもいいと思います。インターンシップに参加した高知工の生徒さんは、「自分」を持っていて、明確に発言するという印象です。「自ラカ」を鍛える「イノベーションKT」の成果かもしれません。

当社は社員の1割以上が高知工卒というご縁があります。母校に頼まれたら協力したいという気持ちでいっぱいです。

「若手社員による学校出前講座」
昨年度は3校で実施、約500名の高校生が参加!

県内の若手社員の方が出身高校に出向き、「働くこと」「高校時代にやっておけば良かったこと」「後輩へのアドバイス」などをお話しします。先輩社員が活躍する企業の特徴や仕事の内容なども知ることができます。なにより、高校生にとって身近な存在である先輩社員の体験談は、貴重なアドバイス。進路や今何をすべきかを考えるいい機会となっています。

■平成30年度実施高校：宿毛高校・春野高校 など

実施したいというご希望、大歓迎です!
ジョブカフェこうちまでご相談ください。



さてさて、 幡多サテ通信

幡多サテライトでのセミナーの様子や、幡多ならではののめりエピソードなどを紹介します。

幡多サテも高校生を応援!



平成30年5月23日、高知県立宿毛高等学校の2年生(81人)を対象に若手社員による「学校出前講座」を開きました!

講師の3人からは、自らの体験談や企業紹介がされ、「この職業を選んだ理由」「高校から仕事に就くまでの道のり」「仕事のやりがい」「よかったことや大変だと思うこと」など、わかりやすく具体的な話をしてもらいました。最後には高校生への温かいエールが送られました。



講師
 四万十ロイヤルホテル 山岡 優香さん
 幡多けんみん病院 西田 真子さん
 おおぐし農園 安田 えりさん

Question!

受講した2年生(81人)に聞いてみました!
 将来就職するとしたら、どの地域を考えますか?

- 「県内」40人
 地元へ愛着があり、住み慣れている、という意見が半数以上を占めている。
- 「県外」41人
 就きたい職業などが決まっておらず、具体的な理由もなく県外希望を選択した生徒が多く依然として都会志向が強いことが分かる。



就職する前に
 しておきたい17のこと



就職する前に
 しておきたい17のこと
 本田 健 著
 発行：だいわ文庫
 四六判・192ページ

この本がメッセージしているのは「自分が自然に頑張れる分野を仕事にしよう」ということ。
 好きな分野で「一生離れないぐらゐの覚悟」を持って頑張ることが大事。というのも、専門知識や特別な才能がある人は、すでに強みを持っています。だから、自分の好きな分野や得意な分野を専門として究めていくことが必要だということです。
 「自分はこう考えているのか」「自分はこうしたいのか」「これはどういうことなんだろう」と考え、「将来のためにこう動こう」と思わせてくれた本でした。また、仕事は楽しまなければ続かないし、辛いことに耐えられない、と気づかされました。
 この本を読むと、自分が本当に好きなことを今一度よく考えてみようと思えます。その上で就活に臨む。無理な頑張りではなく、無意識に苦勞せずできる才能に着目する。自分のどんな部分がそうなのか? — 自己分析にも役に立ちます。

NEWS 01

仕事カパワーアップ 事業がスタート

自分に合った、就職力を身につける!

ジョブカフェこうちでは、仕事を探している人が社会人として働くための基礎的な力をつけ、業界研究や企業見学、職場体験などを通して自分に合った仕事に就くためのサポートプログラムを作りました。

- 1 マインド** キャリアコンサルタントがじっくり話を聴きます。もやもやした不安を解消して、さあチャレンジ!
- 2 スキル** 働くうえで必要な力を、幅広いメニューから選択して身につけることができます。
- 3 トライ** 実際に仕事を体験することで、判断材料が増えます。企業にもありのままの自分を見てもらうことができ、双方にとって納得の決断ができます。

最新情報は、webサイトでチェックしてね!

仕事カパワーアップ



ジョブカフェこうち
 キャリアコンサルタント
 村岡 啓子

NEWS 02

シゴト★ジブン 発見カード



小学4～6年生対象 [各日5組]

自分の「好き」に気づくと「将来こんなことをしたい」という夢が膨らむ!

ジョブカフェこうちでは、小学生が「しごと」を考えるきっかけになるプログラムを実施します。「シゴト★ジブン発見カード」を使って、ゲーム感覚で小学生でも就きたい職業探しを楽しめます。72枚のカードに「へえ、こんな仕事もあるんだ～」という新しい気づきも! 自分のタイプや強みを発見し、親子で将来について話し合ってみましょう。今後はイベントなどでもこのカードを使い、小学生の時から将来について考えるお手伝いをしていきます。

- 72枚の仕事カードを「やってみたい」「どちらでもない」「やりたくない」に分類します。
- 「やってみたい」と思ったカードを色別に分けて、「マイタイプシート」に記入します。
- キャリアコンサルタントと一緒に「自分」について考えてみよう!

講師は、幡多サテライト キャリアコンサルタント
 橋田 ゆき です!



開催日時・場所 14:00～15:30

【ジョブカフェこうち セミナールーム】
 7.25[水] 29[日] 8.4[土] 17[金]
 【幡多サテライト アピアさつき会議室】 8.8[水]

申し込みは、ジョブカフェこうち、幡多サテライトまで

相談も就職対策も!

ジョブカフェこうちへ!

ジョブカフェこうちは、若者のための高知県就職支援相談センターです。ぜひお気軽にお越しください。

対象

- 仕事を探している方
 - 仕事の悩みがある方
 - 学生(高校、大学、専門学校など)
- (保護者からの相談もお受けしています)

ジョブカフェではこんなサポートを全て無料で行っています。

サポートメニュー

- 仕事に関する相談
- 学校への出前講座
- 職業適性診断
- 図書コーナー
- 就職に関する情報提供
- 各種セミナー
- 職場体験講習

相談内容例

- 自分に向いている仕事を知りたい
- 就職に向けて対策をしたい
- 企業で職場体験をしたい
- キャリアアップしたい
- 求人内容を知りたい
- 面接の練習をしたい
- 職場での悩み など…

ジョブカフェこうち

高知市帯屋町2丁目1-35
片岡ビル1F・2F
TEL. 088-802-2025
年中無休
※年末年始は除く
開所時間 10:00~19:00



ジョブカフェこうち 幡多サテライト

四万十市右山五月町8-13
アピアさつき1F
TEL. 0880-34-6860
開所日 月・水・金・日曜日
※年末年始は除く
開所時間 13:00~17:00



初めてのご利用の方は、まずは利用登録を。お気軽に1F受付までどうぞ!

最新情報は、webサイトでチェックしてね!
<http://www.jobcafe-kochi.jp/>

ジョブカフェこうち

検索



Facebook, twitter もチェックしてね!

ジョブカフェこうち 3F併設 ハローワーク高知若者相談コーナー

おおむね45歳未満の若年者及び卒業予定の学生の皆さんのための職業相談・職業紹介窓口です。

- サポート内容
- 職業相談・紹介
 - 求人情報の提供
 - 就職に関する情報提供
 - 職業適性診断

高知市帯屋町2丁目1-35 片岡ビル3F TEL. 088-802-2076
開所日 月~金曜日 ※土・日・祝日・年末年始休み 開所時間 10:00~18:00
<http://www.jobcafe-kochi.jp/hellowork/>



職業相談・紹介コーナー
求人票への応募や面接相談は窓口で。スタッフが対応します。



学生支援システム
学生職業総合支援センターWEBサイトの閲覧や企業情報収集にご利用ください。



求人検索パソコン
ハローワークの求人について詳細の閲覧や、求人票の印刷ができます。

悩みを持つ若者・保護者の相談専門機関



こうち若者サポートステーション

TEL. 088-844-3411
開所日 火~土曜日 ※日・月・祝日休み 開所時間 10:00~17:00
<http://www.pippikochi.or.jp/saposute/>

すさきサテライト TEL. 080-1993-1768
開所日 月~金曜日 ※土・日・祝日休み 開所時間 10:00~17:00

なんこく若者サポートステーション

TEL. 088-863-5078
開所日 火~土曜日 ※日・月・祝日休み 開所時間 10:00~17:00
<http://www.pippikochi.or.jp/saposute/>

あきサテライト TEL. 080-1993-1767
開所日 月~金曜日 ※土・日・祝日休み 開所時間 10:00~17:00

はた若者サポートステーション

TEL. 0880-34-9100
開所日 月~金曜日 ※土・日・祝日休み 開所時間 9:00~17:00
<http://hata.support>